

みやぎのだより

No. 129

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

令和4年8月8日

みやぎの酪農農業協同組合第73回通常総会



第73回通常総会

CONTENTS

第73回通常総会の開催……………	1	バルククーラーの室外機及び周辺環境の点検について……………	8
乳質改善共励会・購買品高位利用者が表彰される…	2	飼料情勢……………	9
令和4年7月以降の新型コロナウイルス感染症に係る組合の対応について……………	4	令和4年度 生乳生産実績……………	10
新型コロナ感染防止×熱中症予防……………	4	理事会通信……………	10
第3回 乳質改善共励会 最優秀賞者のご紹介…	5	売りたいし、買いたいし……………	11
飼料・肥料等高騰に係る支援対策要請活動について……………	7	編集後記……………	11

第73回通常総会の開催

去る6月28日(火)に松島町の『ホテル松島大観荘』にて第73回通常総会を開催いたしました。

午後1時30分に伊藤組合長は開会を宣言しました。

伊藤組合長は、本日開催の通常総会の運営について、一昨年、昨年に引き続き3年連続で新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、組合員の健康と安全を最優先に考え、感染機会を極力減らすため、規模を縮小し書面による議決権の行使を奨励した旨を説明し、本日出席された組合員に対して謝意を表し、開会のあいさつを次のように述べました。

災害発生や新型コロナウイルス感染症について

豪雨などの自然災害や豚熱や鳥インフルエンザなどの重要家畜疾病など被害が発生しました。また、長期化する新型コロナウイルス感染症は社会・経済に大きな影響を与え、未だ終息の見通しがたない状況で、被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げますと共に、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い終息を願っております。

酪農乳業界について

コロナ禍に加え、ウクライナ問題も重なり不安定化した国際情勢を背景に急激な円安や品不足から、飼料をはじめとする生産資材すべてが高騰して酪農経営は危機的な状態に陥り、このまま厳しい経営環境が継続すれば廃業者が増え、生乳の安定供給に大きな支障をきたすことが危惧されます。この危機的状況を乗り越えるには、生産コスト上昇分の価格転嫁への環境整備が最も重要であり、東北生乳販連では取引乳業メーカーに対し令和4年度期中改定に向け鋭意乳価再交渉にあたっています。また、組合では今年度、出荷乳量キログラムあたり30銭の支援を決定していましたが、生産コストは予想を大きく上回り酪農経営は厳しさを増していることを鑑みて、本日、臨時理事会を開催して追加支援を決定しました。

事業運営について

組合員皆さまの弛まざる日々の努力と協同組合活動に主体的にご参加いただき結果として、当期剰余金45,687千円の経営成績を計上できたことに対して心より感謝申し上げ、今後も、これまで以上に組合機能が評価されご利用いただくために、相対的な組合の有効性の発揮を目指し更なる努力をします。

結びに、依然として高齢化、後継者不足から組合員数が減少し続ける中で、このような時だからこそ協同組合の基本的価値を見失うことなく、今後も組合に求められる基本的使命や社会的責任を念頭に役職員が共通の理念のもと各事業に邁進して参る所存でありますので、引き続き組合員の皆さまにもなお一層のご理解とご協力をお願いしました。

総会当日の出席者数は、正組合員は20名(役員含む)、代理人1名出席されました。

議長には、伊具支部の佐藤俊組合員が選任されて、上程された第1号議案から第7号議案まですべて承認可決されました。

なお、今回の総会の出席状況と賛否の結果と、第3回乳質改善共励会・購買高位利用表彰者の組合員は右記のとおりです。



総会出席状況・各議案結果

総会日現在正組員	225名
実際に出席した正組員(役員含む)	20名
代理人	1名
書面	201名
合計	222名

	議決権数	議決権の過半数等	賛成				反対				結果
			本人	代理	書面	合計	本人	代理	書面	合計	
第1号議案	221	148	18	1	201	220	1	0	0	1	可決
第2号議案	221	148	18	1	201	220	1	0	0	1	可決
第3号議案	221	111	18	1	201	220	1	0	0	1	可決
第4号議案	221	111	17	1	201	219	2	0	0	2	可決
第5号議案	221	111	16	1	198	215	3	0	3	6	可決
第6号議案	221	111	16	1	201	218	3	0	0	3	可決
第7号議案	221	111	16	1	201	218	3	0	0	3	可決

乳質改善共励会・購買品高位利用者が表彰される

◎第3回乳質改善共励会表彰

○最優秀賞

白石・七ヶ宿支部 佐藤 剛 様

○優秀賞

蔵王支部 小島 一也 様

白石・七ヶ宿支部 鈴木 正高 様

石巻支部 佐藤 久男 様

○優良賞

豊里支部 須藤 元晴 様

白石・七ヶ宿支部 片平 敬一 様

大崎支部 八巻 誠 様

登米支部 佐藤 克憲 様

大崎支部 佐々木昌之 様

蔵王支部 阿部 賢一 様

○努力賞

大崎支部 濱田 茂 様

白石・七ヶ宿支部 (有)ファームイチカワ 様

黒川支部 高橋 信 様

白石・七ヶ宿支部 木村 近雄 様

本吉支部 山内 寿行 様

豊里支部 浅野真由美 様

加美支部 伊藤 智之 様

遠田支部 木村 英樹 様

遠田支部 甲田 末夫 様

遠田支部 西條 靖也 様

伊具支部 高橋 孝志 様

蔵王支部 玉根 満晃 様

柴田支部 吉田 敬貴 様

登米支部 大泉 忠博 様

白石・七ヶ宿支部 齋藤 和宏 様

大崎支部 長谷川広明 様

鳴子支部 荒木 勝 様

柴田支部 (株)蔵王めぐり 様

登米支部 千葉 敏幸 様

豊里支部 三浦 誠一 様

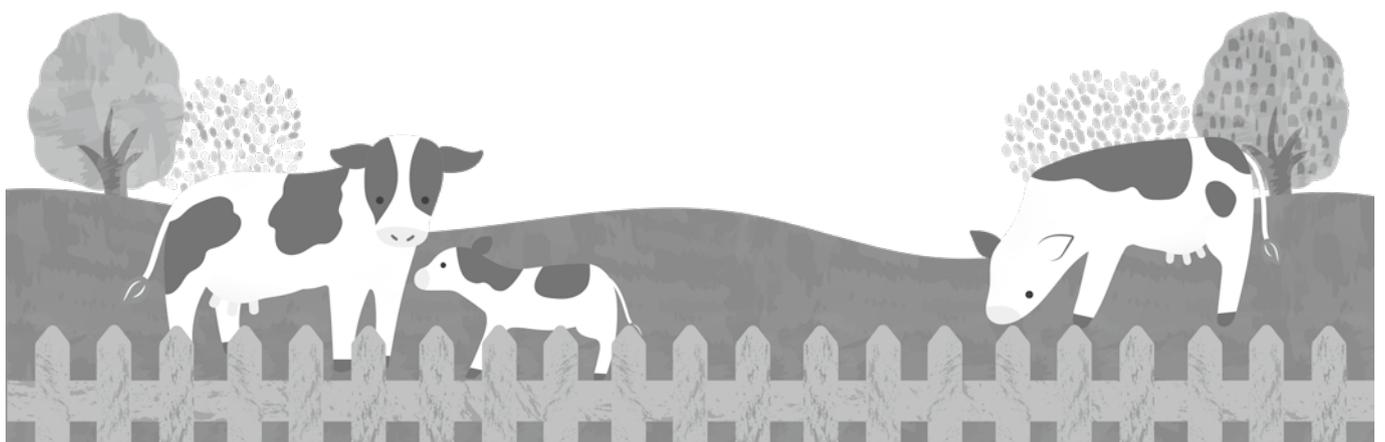
仙台支部 新田 重恭 様

栗原支部 佐藤 忠光 様

蔵王支部 佐藤 晃 様

◎購買品高位利用者表彰

蔵王支部 (株)ゼルコバドリーム 様	白石・七ヶ宿支部 (有)ファームイチカワ 様
登米支部 (株)柴田牧場 様	栗原支部 千田農場(株) 様
蔵王支部 阿部 賢一 様	栗原支部 (有)小山牧場 様
登米支部 (株)シュガーファーム 様	蔵王支部 佐藤 晃 様
豊里支部 斎 正志 様	白石・七ヶ宿支部 阿部耕太郎 様
仙台支部 佐藤 正人 様	白石・七ヶ宿支部 (有)蔵王プロヴァンスファーム 様
栗原支部 熊谷牧場合同会社 様	白石・七ヶ宿支部 (株)エムエスファーム 様
柴田支部 柳沼美枝子 様	大崎支部 八巻 誠 様
仙台支部 高橋更一郎 様	登米支部 武田 健一 様
蔵王支部 (有)七日原高原 佐豊牧場 様	仙台支部 渡邊 勇樹 様
白石・七ヶ宿支部 鈴木 正高 様	蔵王支部 小島 桂輔 様
柴田支部 吉田 敬貴 様	柴田支部 佐藤 文昭 様
柴田支部 小笠原良一 様	鳴子支部 片倉 正人 様
蔵王支部 大宮 勉 様	白石・七ヶ宿支部 木村 近雄 様
蔵王支部 佐藤 吉彦 様	仙台支部 庄子 孝喜 様
白石・七ヶ宿支部 佐藤 剛 様	登米支部 佐藤 勝雄 様
伊具支部 佐藤 勝彦 様	鳴子支部 野村 泰仁 様
栗原支部 砂金 篤孝 様	石巻支部 塩沼 勉 様
蔵王支部 伊藤 昌治 様	蔵王支部 山家 善明 様
白石・七ヶ宿支部 佐久間英明 様	伊具支部 高山 英男 様
栗原支部 白鳥 健 様	大崎支部 木村 清一 様
栗原支部 伊藤 紀彦 様	白石・七ヶ宿支部 齋藤 和宏 様
蔵王支部 平野 信明 様	登米支部 千葉 敏幸 様
蔵王支部 廣谷 淳一 様	石巻支部 高橋 公 様
仙台支部 高橋 光浩 様	白石・七ヶ宿支部 江場 稔一 様
白石・七ヶ宿支部 根本 和雄 様	加美支部 伊藤 保仁 様
伊具支部 小川 淳一 様	白石・七ヶ宿支部 佐藤 康憲 様



令和4年7月以降の新型コロナウイルス感染症に係る組合の対応について

指導課

7月以降については、支部、青年部及び婦人部等の活動の緩和に向けて対応していきませんが、現在の感染状況を見ると直ぐに緩和できる状況ではありません。当分の間はこれまでの対応を継続しますが、感染状況を見ながら緩和の時期を判断していきますので、ご理解とご協力をお願いします。

新型コロナ感染防止×熱中症予防

指導課

夏場、マスクどうする？

新型コロナ対策でのマスクの着用。これからの時期はマスクの着用により、熱中症のリスクが高まります。マスクを着けると皮膚からの熱が逃げにくくなったり、気づかいうちに脱水になるなど、体温調整がしづらくなってしまいます。

気温が上がる中、熱中症に気をつけながらマスクをどううまく活用すればいいのでしょうか？



マスク着用の考え方について

【屋外】

距離が確保できない会話



必要あり

他者と身体的距離※1が確保できない中で会話を行う場合は、マスクを着用する。

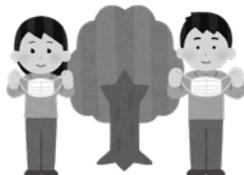
距離が確保できる会話または会話なし

- ・他者と身体的距離※1が確保できる場合や、他者と距離が確保できなくても会話をほとんど行わない場合※2は、マスクの着用は必要ありません。

必要なし

- ・特に夏場については、熱中症予防の観点から屋外でマスクの必要のない場面では、マスクを外すことを推奨します。

- ・高齢者等との面会時や病院内など、重症化リスクの高い者と接する場合にはマスクを着用する。



【屋内】

距離が確保できないまたは会話する



必要あり

他者と身体的距離がとれない場合や、他者と距離がとれるものの会話を行う場合は、マスクを着用する。※3

距離が確保できるまたはほとんど会話なし

他者と身体的距離が確保できて会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は必要ありません。

必要なし

※1 2m以上を目安

※2 「会話をほとんど行わない」とは、屋外で人とすれ違う際に簡単な挨拶を交わす場合や、携帯電話で話している者の横を立ち止まらずに通るような場合を想定しています。

※3 「他者と距離がとれるものの会話を行う場合」については、十分な換気など感染防止対策を講じている場合はマスクを外すことも可能です。ただし、屋内は換気状況や建物の構造などが一律ではないため、マスクを外す際には、それぞれの場面において、感染拡大防止のために講じられている対策や当該屋内施設の管理者の指示等も踏まえ、適切に判断していただくようお願いいたします。

第3回 乳質改善共励会 最優秀賞者のご紹介



(左から父:宗一さん、経営者:剛さん、母:みち子さん)

第73回通常総会において、第3回乳質改善共励会の最優秀賞に輝かれた白石・七ヶ宿支部 佐藤剛さんをご紹介します。

2年連続の最優秀賞受賞を果たした佐藤牧場の1年間の乳質検査における結果は以下の通りです。

項目	FAT (%)	SNF (%)	細菌数	細胞数	蛋白	乳糖	M U N
平均	4.11	8.83	0.46	5.0	3.41	4.47	14.08

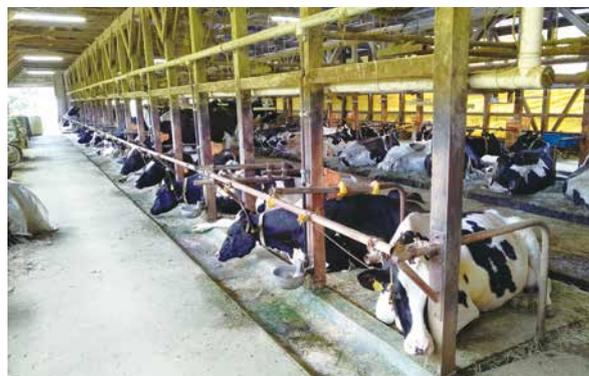
【佐藤牧場のあゆみ】

白石三住地区でお祖父さんが乳牛を導入したことで酪農が始まりました。ご両親の代に規模拡大され、平成8年に40頭対尻式牛舎を建設、キャリーレール・ミルクカー自動離脱装置を導入しました。剛さんは宮城県農業実践大学校(現宮城県農業大学校)を卒業後、県内の牧場で1年間学び、平成9年に就農。現在3代目の経営者として酪農に取り組んでいます。



【経営概況】

佐藤牧場は剛さんご両親の3人で従事しており、経産牛33頭、未經産牛21頭を飼養しています。未經産牛は近隣の牧場へ預託し、分娩前に下牧させることで、労働力の軽減を図っています。繁殖管理については、担当獣医の堀先生や精液業者と話し合い、輸入精液の「総合指数上位から母牛と相性の良い種雄牛」を作成し、一覧の中から性判別精液を選択することで牛群の改良と後継牛の確保に力を入れています。また、佐藤牧場では乳牛にとって理想的なルーメン発酵を促すため、配合飼料の時間や給与量を細分化し、手作業で5回/日給与しています。日中も給餌作業を伴うため、労働力の負担にはなっていますが、その分乳牛の観察時間が増え、早期の疾病予防や発情



発見等の繁殖管理への対応が出来るとの事です。さらに、自給飼料は収穫時期ごとに管理されており、そのロット毎に分析を全酪連へ依頼し、その都度、飼料設計を見直して給与しています。

【自給飼料の生産】

自給飼料は父の宗一さんが主に管理され、永年生牧草9ha、デントコーン4haを作付けされています。堆肥の適正還元、化成肥料と土壌改良剤の適量施用から、良質で多収量の自給飼料の生産に取り組んでいます。



【乳質改善への取り組み】

搾乳時の乳房炎の感染を防ぐため、搾乳機器は毎月メーカーの点検を受けて部品の交換や修理を行なっています。搾乳作業については、前搾りや乳頭清拭、ミルカー装着のタイミングなど、基本に沿った手順を意識して取り組まれています。中でも乳頭清拭作業に最も注意を払い、乳頭を清潔に保つために乳頭清拭用タオルを1頭に対して1～2枚使用するスタイルで作業をされています。自分自身の手やミルカーなどが汚れた場合も、適時清潔に保つことで乳質維持に貢献しています。また、乳房炎の罹患率の低下と重篤化を防止するために、4年前から初妊牛への乳房炎ワクチン(スタートバック)接種を開始されました。初妊牛への乳房炎ワクチンは剛さんから見ても効果的で、分娩直後の牛体管理に力を入れた結果、ワクチン接種前と比べて乳房炎発症率が激減したとのこと。

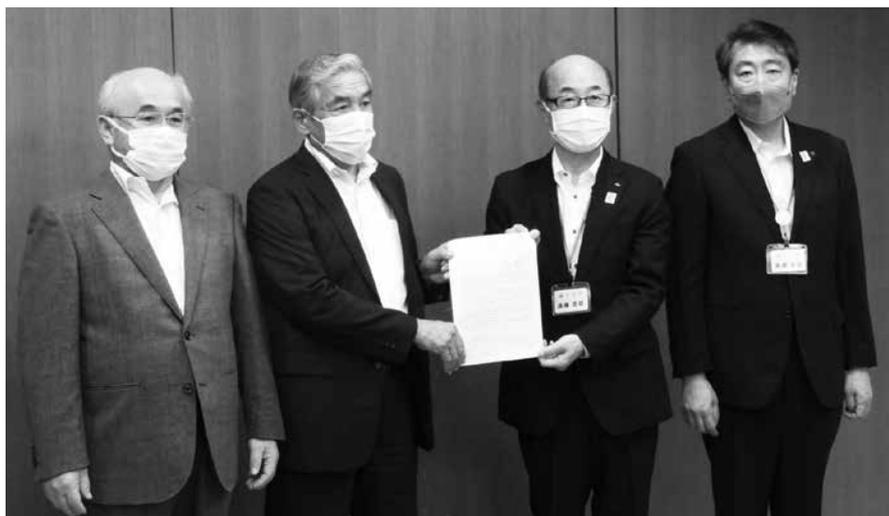
【最後に】

今回の取材を通して、2年連続で最優秀賞を受賞したのは基本に忠実で当たり前の作業をしっかりこなしてきたからだと思いました。また、自分だけでなく牛たちに対しても衛生的に対応、接していたことが最優秀賞に繋がったのだと思います。

最後に、お忙しいところ取材を受けていただきありがとうございました。佐藤牧場の益々のご発展をお祈りいたします。



(牛と戯れる剛さん)



(左から 渡邊副会長 伊藤会長 遠藤副知事 嘉藤副教育長)

宮城県酪農団体協議会の伊藤一成会長(みやぎの酪農協代表理事組合長)、同、渡邊博副会長(宮城県酪農協代表理事組合長)及び同、安齋彰洋委員(全農宮城県本部畜産部長)は6月30日、宮城県村井嘉浩知事(遠藤副知事)と宮城県教育委員会伊藤明代教育長(嘉藤副教育長)、宮城県

県議会菊地恵一議長に対して、中島源陽宮城県県議会議員の同席のもと、飼料及び輸入粗飼料価格高騰等が酪農家を直撃し、経営継続が困難な危機的状況であることから、安定的な生産活動を果たしていくため、①飼料価格高騰への支援、②肥料価格高騰への支援、③小、中学校等に対する学校給食用牛乳の継続支援についての要請書を手渡しました。

遠藤副知事は、「県の独自支援対策を講じたい」、菊地議長からは、「県はもとより国にも訴えていきます」と回答をいただきました。



菊地議長へ要請の様子(議員会館)

なお、7月6日には市町村会長へ要請。みやぎの酪農協独自に宮城県内の各市町村長の方にも、地元理事、各支部長が要請活動をおこなっております。

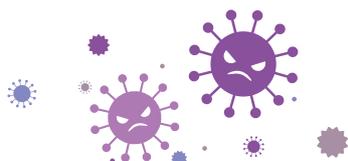
これから、厳しい暑さを向かえます。暑熱期における乳質事故で多いのが、バルククーラーの冷却不足による細菌増殖です。

バルククーラーの室外機の清掃、周辺環境を見直すことで、生乳廃棄を未然に防ぎましょう。

《細菌を増殖させないための点検ポイント》

1. コンデンサー (熱交換器) に埃は付着していませんか？

- ①コンデンサーに埃が付着していると、熱が放出されず冷却に時間を要することで、細菌が増殖する恐れがあります。



コンデンサー



- ②コンデンサーの目詰まりにより、冷却器のガス圧が高圧になることで、バルクの安全装置が作動し冷却が停止する恐れがあります。
- ③室外機の清掃後は、バルククーラーに水を入れ試運転をし、4℃まで冷却されるかを確認しましょう。
- ④バルククーラーの冷却に異常がある場合は、自己判断をせずメーカーに点検を依頼し、年に1度はメーカーによる点検を行いましょう。

Before



After



2. 室外機の周りを障害物で塞いでいませんか？

- ①室外機を塀等で囲まれていたり、室外機の吹き出し口が障害物で塞がれていると、放出した熱を再び吸い込む『ショートサイクル』が起き、冷却能力が低下する恐れがありますので、スペースを確保しましょう。

3. 室外機が日光に当たっていませんか？

- ①室外機に直接日光が当たると、コンデンサーに負担がかかるため冷却能力が低下します。そのため、吹き出し口を塞がないよう十分に注意しながら、『よしず』や『すだれ』を活用して日陰を作りましょう。

北米コンテナ情勢

北米西海岸港沖合では、依然30隻前後のコンテナ船が滞船しています。年始より減少しており、状況は改善傾向にあります。

シアトル港・タコマ港では、沖待ち状況は改善しつつありますが、経由地のバンクーバー港で1か月近い滞船となっており、日本到着まで45日程度の航海日数を要している状況です。加えて船社より東京、大阪港向け直行便の抜港が発表されており、引き続きコンテナ本船の混乱が予想されています。

輸入粗飼料

米国農務省の発表によると、4月の全米平均クラスⅢ乳価(チーズ向け乳価)は100ポンドあたり24.42ドルと9カ月連続で上昇しており、4月時点の乳価は昨年8月から円換算で約21.7円/kg上昇したことになります。このため内需の購買力は増進し、アルファルファ相場を牽引しています。

①ビートパルプ(US産)

天候不良により遅れていた播種作業が終盤を迎えています。一部の地域で播種前に洪水に見舞われたため、播種作業の大幅な遅延や、作付けを断念した圃場も発生しており、豊作であった前年に比べると生産量の減少は避けられず、最大で前年比10万トン近くの生産減少が見込まれています。

ビートパルプの市場については、堅調な内需に加え、海外からの強い引き合いから、産地相場は上昇しています。主要生産国であるフランスでの早魃の影響や、これまでヨーロッパの多くの需要を満たしてきた世界最大の生産国であるロシアから調達ができなくなったことで代替産地として米国への引き合いが強くなっています。

②アルファルファ

(ワシントン産)

主産地では、5月中旬から1番刈の収穫作業が開始されています。生育期に降雪を伴う寒冷な気候が続き、生育は例年より3週間程度遅れている状況です。また、5月中旬以降、断続的な降雨に見舞われており、雨当たり品が多く発生し輸出向けの上級品発生は限定的です。産地・近隣州の酪農及び肥育農家の牧草在庫率が低いことから、雨当たり品でも高値で取引され、産地相場は内需に牽引され昨年同期比で大幅に上昇しています。

また生産スケジュールが大幅に遅れているため、2番刈以降の生産に影響を及ぼす可能性もあり、例年では4番刈まで収穫されますが、22年産は3番刈の生産で終える可能性があり、生産量の減少が懸念されています。

(カリフォルニア産)

南部では、3番刈の収穫が終盤を迎えています。3番刈は1番・2番同様多くの上級品が発生しましたが、直近では連日最高気温が40℃を超えているため、成分が低下しており中・低級品の発生が中心となっています。

産地相場は引き続き堅調で、中級品及び下級品も上級品同様大きな幅で上昇しています。

③チモシー

(US産)

主産地では例年より冷涼な気候が続き、ゆっくりした生育となっており、圃場での見た目は良好で、葉付きの良い、柔らかなチモシーの収穫が期待されています。南部では6月中旬頃から1番刈の収穫が予定されています。

(カナダ産)

主産地では冷涼な気候により、生育は例年よりも遅れています。一方、例年に比べ降雨量が少ないことから、今後収穫期に向け更なる降雨が望まれています。

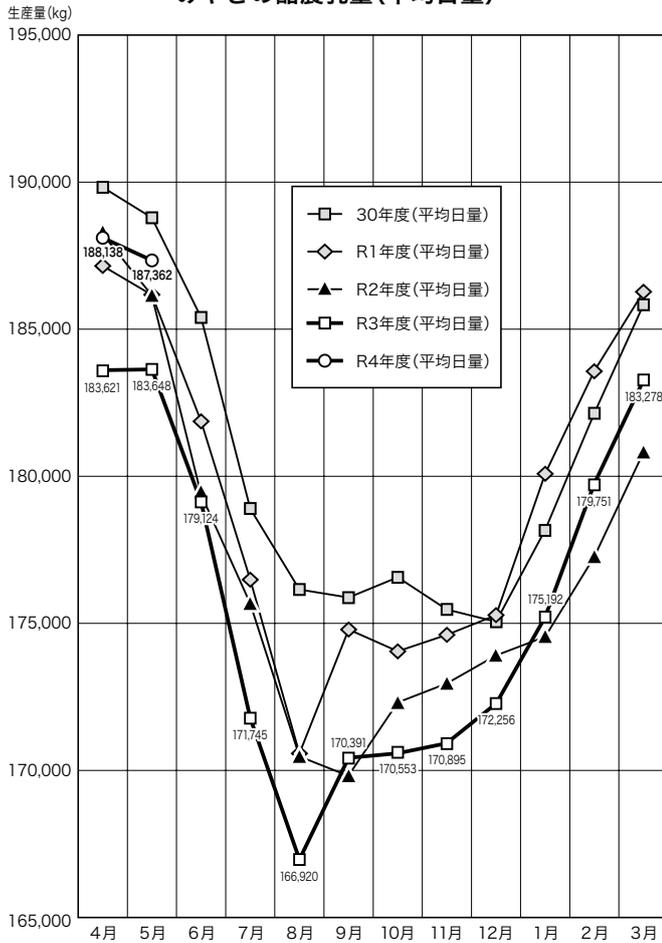
④豪州産オーツヘイ

22年産の播種作業は概ね終了しました。5月は全域で十分な降雨があったため、順調なスタートとなっています。一方で産地の生産者は換金性の良い小麦や菜種などの作付けを増加させており、22年産の作付面積は地域により21年産比で10-20%程度、20年産と比較すると30%程度減少することになります。この作付面積減少を受け、オーツヘイの先高を期待し、21年産の在庫をすぐに売却せず、売り時を待つ生産者も出始めています。

令和4年度 生乳生産実績

販売課

みやぎの酪農乳量(平均日量)



令和4年度生乳生産実績(4月～5月 標準進捗率16.71%)

(単位:kg、%)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	生乳出荷目標数量	進捗率
白石・七ヶ宿支部	22	1,477,597.7	1,509,384.9	97.89	8,699,073.1	16.99
蔵王支部	23	1,518,467.0	1,549,759.8	97.98	8,870,732.9	17.12
柴田支部	13	653,132.0	687,343.0	95.02	3,892,201.2	16.78
伊具支部	16	822,318.0	816,628.0	100.70	4,578,103.5	17.96
仙台支部	11	640,901.0	634,615.1	100.99	3,840,487.9	16.69
名取支部	4	124,573.0	137,581.0	90.55	758,385.6	16.43
黒川支部	6	165,171.0	178,702.0	92.43	982,163.0	16.82
大崎支部	17	585,114.0	614,673.0	95.19	3,440,314.6	17.01
遠田支部	14	1,637,523.0	1,127,231.0	145.27	7,520,531.4	21.77
加美支部	9	297,897.0	355,644.0	83.76	1,908,879.0	15.61
鳴子支部	8	317,274.0	326,107.0	97.29	1,885,079.0	16.83
栗原支部	29	1,080,434.0	1,141,371.0	94.66	6,499,222.3	16.62
登米支部	23	1,320,456.0	1,296,529.0	101.85	7,446,371.1	17.73
本吉支部	12	239,476.0	276,153.0	86.72	1,542,954.2	15.52
石巻支部	5	134,371.0	132,356.0	101.52	738,565.5	18.19
豊里支部	10	437,683.0	417,650.0	104.80	2,410,904.8	18.15
みやぎの酪農	222	11,452,387.7	11,201,727.8	102.24	65,013,969.0	17.62

※出荷戸数については、直近の数字です。

理事会通信

総務課

【第2回理事会】

開催日 令和4年5月23日

- 付議事項 第1号議案 令和3年度決算監査にかかる監事監査報告について
- 第2号議案 令和3年度決算書類の承認について
- 第3号議案 通常総会の招集について
- 第4号議案 定期賞与(6月期)の支給について

【第3回理事会】

開催日 令和4年6月28日

- 付議事項 第1号議案 飼料等生産資材高騰にかかる緊急特別支援について

【第4回理事会】

開催日 令和4年6月28日

- 付議事項 第1号議案 令和3年度業務報告書の承認について
- 第2号議案 令和3年度連結業務報告書の承認について
- 第3号議案 令和4年度理事の報酬の配分について

【機 械】

機 械 名 自動給餌機
 メーカー オリオン
 年 式 2014年10月購入
 備 考 2020年にバッテリー交換済み
 2020年12月まで使用
 配合飼料、粗飼料、サプリメント3槽
 添加剤2槽



販 売 者 鳴子支部 佐々木純
 機 械 名 マニユアスプレッダー
 メーカー DELICA
 積 載 量 4t
 価 格 500,000円
 備 考 H18年購入・昨年ビータ交換済み
 (スーパービータから縦ビータへ)
 5年前にチェーン交換済み・コンベア
 走度コントロールボックス付



【初妊牛】

No.	支 部	販 売 者	区 分	分 娩 予 定 日
1	加 美 支 部	正永 昭太郎	ホルスタイン種	8月26日
2	蔵 王 支 部	小島 一也	交雑種	10月17日

[編 集 後 記]

前号から掲載している「Dairy Farmer」酪農家の日常紹介については、次号より再開を予定しております。未だ自薦、他薦がございませんので希望される方がいらっしゃいましたら、指導担当まで是非お声掛けください。

発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)